

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告5, 246件(前月比0. 5、前年同月比1. 6)で、今季は2月をピークに3月は減少に転じましたが、昨年同月に比べるとまだ多いようです。山鹿地区からの報告が若干多くみられます。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 報告数9, 285件(前月比 0. 7, 前年同月比 1. 0)で、2月をピークに3月は減少を認めました。主にインフルエンザの減少(前月比 0. 5)によるものと考えられます。また3月は多くの疾患で減少傾向を認め例年並みの推移と考えられますが、地域によっては報告数の多いところも目立ちます。一方で感染性胃腸炎は3月に増加に転じました。(前月比1. 3)流行性耳下腺炎は報告件数は少ないものの、八代地区からの報告が突出しており注目されます。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数62件(前月比0. 5、前年同月比0. 9)で、1月から連続的に減少しており、例年並みの推移を示しています。その中で人吉地区からの報告が若干多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 報告数88件(前月比0. 6、前年同月比1. 2)で、1月から連続的に減少しており、例年並みの推移を示しています。その中で菊池からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数374件(前月比0. 9、前年同月比1. 0)で、1月から連続的に減少していますが、昨年は5月に再び増加に転じていますので、今後の動向に注意が必要です。菊池、宇城地区からの報告が目立ちます。
4. 感染性胃腸炎: 報告数2, 712件(前月比1. 3、前年同月比1. 0)で、2月は減少したものの3月は再び増加に転じました。山鹿、菊池地区と県北からの報告が目立ちます。
5. 水痘: 報告数172件(前月比0. 7、前年同月比0. 4)で、1月から連続的に減少し、3月は昨年同月と比較し大幅な減少を認めました。その中で山鹿地区からの報告が突出してみられます。
6. 手足口病: 報告数200件(前月比0. 9、前年同月比5. 0)で、件数は少ないものの例年と比べるとやや高水準で推移しています。八代地区からの報告が突出しています。
7. 伝染性紅斑: 報告数9件(前月比2. 3、前年同月比1. 5)で、2月、3月は一桁の報告で昨年同様低水準で推移しています。
8. 突発性発疹症: 報告数127件(前月比1. 2、前年同月比0. 9)で、年間を通して1~3月はやや少なめで例年並みの推移を示しています。今年は1月から例年よりやや少ないようです。
9. 百日咳: 報告数2件(前月比0. 5、前年同月比-)で、2件とも菊池地区からの報告でした。年齢は2件とも10~14歳でした。1月1件、2月4件と今年は例年と比較し若干多いようです。
10. ヘルパンギーナ: 報告数40件(前月比1. 3、前年同月比4. 4)で、件数は少ないものの例年より若干多いようです。天草地区からの報告が目立ちます。

11. 流行性耳下腺炎: 報告数30件(前月比5.0、前年同月比1.1)で、件数は少ないものの1月10件、2月5件からすると3月は急に増加しました。今後の動向に注意する必要があります。とくに八代からの報告が突出していました。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎: 報告数80件(前月比0.9、前年同月比1.4)と前月よりも減少していますが、4月に入っても新規の発症が続いていますので注意が必要です。発症年齢のピークは20~40歳代に見られますが、先月まで増加傾向にありました乳幼児層では著明に減少しています。地域別では熊本76件、菊池1件、有明1件、天草2件の報告でした。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 41件(前月比 0.9、前年比 0.9)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性13件、女性28件で、女性に多く見られます。年齢は、男性、15~64歳に幅広く見られます。女性は15~54歳に見られますが、15~34歳に多く見られます。地域別は、熊本が28件、次いで八代8件、有明3件、御船2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 15件(前月比 0.8、前年比0.7)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性6件、女性9件でした。年齢は、男性は20~64歳に見られ、女性は20~49歳に見られます。地域別は、熊本が11件、次いで有明2件、八代、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 4件(前月比 0.8、前年比0.7)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性3件、女性1件です。年齢は、男性は30~49歳に見られ、女性は20~24歳でした。地域別は、菊池2件、熊本、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数23件(前月比1.5、前年比1.0)で前月比は増加し、前年比は同数でした。男女別は、男性20件、女性3件でした。年齢は、男性は15~64歳に幅広く見られ、女性は15~39歳にみられます。地域別は、熊本が19件、次いで宇城2件、八代、有明各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告ありませんでした。
2. 無菌性髄膜炎: 3件(前月比3.0、前年比1.5)の報告がありました。熊本3件で、年齢は0歳:1件、15~19歳:1件、20~24歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 3件(前月比1.5、前年比0.5)の報告がありました。有明1件、天草2件で、年齢は1~4歳:1件、70歳以上:2件でした。

4. クラミジア肺炎： 報告ありませんでした。

5. 感染性胃腸炎： 26件(前月比1.9、前年比-)の報告がありました。熊本26件で、年齢は0歳:5件、
(ロタウイルス) 1~4歳:20件、5~9歳:1件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:

20件(前月比0.9、前年比1.3)の報告がありました。熊本6件、山鹿2件、阿蘇1件、八代5件、人吉2件、有明3件、天草:1件で、年齢は30~34歳:1件、35~39歳:1件、60~64歳:1件、65~69歳:3件、70歳以上:14件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

8件(前月比2.7、前年比2.7)の報告がありました。熊本4件、山鹿2件、八代:1件、有明1件で、年齢は1~4歳:2件、65~69歳:2件、70歳以上:4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告ありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告ありませんでした。

届け出対象感染症

1類感染症: 報告はありませんでした。

2類感染症: 結核:22件

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症:2件

4類感染症: A型肝炎:1件

E型肝炎:1件

5類感染症: アメーバ赤痢:2件

侵襲性インフルエンザ菌感染症:1件

侵襲性肺炎球菌感染症:2件

麻しん:2件